

## 要請番号 (JL32725B18)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ペルー	I104 高齢者介護	20~45歳のみ	個別	交替5代目	2年	・2026/2・2026/3・2027/1

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

国際協力庁

## 2) 配属機関名 (日本語)

エンマヌエル協会老人ホーム  
N

## 3) 任地 (カヤオ市ミ・ペルー区) JICA事務所の所在地 (リマ市サンイシドロ区)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約1.5時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

同協会は1981年に設立され、本部はリマ市内にある。設立当初はカヤオ市の孤児院を運営していたが、現在、日系の社会福祉事業団体として、診療所と老人ホームを運営、年間予算は22万米ドル。本要請の活動先となる老人ホームは、2001年に日系人高齢者へのサービス提供のために開設され、現在、介護部門スタッフ22名を含む職員32名が勤務している。1988年以降、同協会にはこれまで10名のJICA海外協力隊(高齢者介護、ソーシャルワーカー、理学療法士等)が、孤児院、診療所、老人ホームに派遣されてきた実績がある他、JICA日系助成金により施設の改修や機材供与を受けている。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

老人ホームには30名以上の日系高齢者がおり、その年齢層は幅広い。また、精神疾患、認知症、身体障害など様々な疾患を抱えているため24時間体制で介護を行っている。これまで派遣された隊員は、心身健康維持と機能回復を目的とした体操やマッサージ、レクリエーションを実施してきた。現在、活動中の隊員(2026年2月至)に加えて、介護福祉関連のJICA研修に参加したペルー人が「日本の介護」を普及する講習会を配属先介護スタッフを対象に実施したところ、反応が良かった。このため、配属先は意欲的に日本の介護技術導入と定着を計画しており、その計画に貢献できるJICA海外協力隊の要請に至った。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 介護部門スタッフに対し、日本の介護システムや技術及び知識の伝達を行うとともに、ニーズに沿った勉強会やアドバイスをを行う。
- 入所者個々の状況を把握し、適切なレクリエーションの実施補助を行う。
- 配属先内にとどまらず、関心のある介護関係者に対して、日本の「KAIGO」を普及する取り組みを行う。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ホーム内施設(3棟、食堂等)、各種機器(ビデオ、テレビ、CDプレーヤー等)

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先現場責任者 50歳代男性(日系人)  
介護部門責任者 50歳代女性(看護師)  
介護部門同僚 准看護師9名、介護スタッフ6名、理学療法士2名、

入所者(60歳代～90歳代日系高齢者)約30名

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

**【資格条件等】**

[免許/資格等]：(介護福祉士)

[学歴]：( ) 備考：

[性別]：( ) 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：介護知識の伝達活動があるため

任地での乗物利用の必要性

不要

**【地域概況】**

[気候]：(砂漠気候) 気温：(13～30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水源]：(安定)

**【特記事項】**

住居は、原則配属先敷地内職員用居室を予定しています。

**【類似職種】**